

岐阜市

まちなか歩き
戦国の道



1 岐阜市歴史博物館【見学目安時間:約40分】

歴史の玉手箱

原始から近代に至るまで歴史の面白さを体験できる博物館。特に、「戦国ワーランド」では、戦国時代の岐阜のまちなみを再現した「樂市立体絵巻」のほか、「天下鳥瞰絵巻」では、信長の天下布武の気持ちを体感できる。また、令和2年(2020)1月には大河ドラマ館がオープンする予定である。

2 織田信長公居館跡

世界に誇る信長の宮殿

宣教師ルイス・フロイスが岐阜を訪れた際、「地上の楽園」と表現し、その壯麗さを記している。発掘調査では、信長時代の巨石列や石垣、庭園群、金箔瓦などが見つかった。

3 御手洗池

岐阜城落城・女中の無念

かつては、この池の背後にあたる金華山丸山に伊奈波神社があったため、この池で手を洗って参拝した。慶長5年(1600)、関ヶ原合戦の前哨戦で岐阜城が落城した際、大勢の奥女中らがこの池に投身したといわれる。

4 丸山

斎藤道三の心づかい?

伊奈波神社が最初に創建されたのが、金華山の丸山である。天文8年(1539)に、斎藤道三が稲葉山城(後の岐阜城)に入城した際、現在の位置に移したとされる。

5 ぎふ長良川の鵜飼【見学目安時間:約90分~150分】歴史に守られてきたアーティストの競演

長良川の鵜飼は古典漁法を今に伝える岐阜市の夏の風物詩。その歴史は古く、約1,300年前にまでさかのぼることができる。織田信長公は鵜飼を保護し、「鵜匠」という名称も信長が付けたという説もある。俳聖・松尾芭蕉も「おもしろうてやがて悲しき鵜舟かな」という有名な一句を残した。また、「長良川の鵜飼漁の技術」は、平成27年3月2日に国重要無形民俗文化財に指定されている。

6 屋根神

どうやって詣る?

屋根神は、棟割長屋などの屋根に祀られている。通常は、道を挟み両側の10~20戸程度がまとまって祀っている。愛知県名古屋市・津島市・三河、岐阜市など、濃尾平野を中心に見られる。岐阜のものは、火事を避けるための秋葉神社が祀られていることが多いといふ。

7 美濃六庚申堂

斎藤義龍の寺跡

この庚申堂は、伝燈護国寺の跡地とされる。この寺は、斎藤義龍が永禄3年(1560)に、京都の妙心寺から僧・別伝を招いて建てたといわれる。義龍は、その当時勢力を増しつつあった禅宗寺院を抑えようと、禅宗の中心寺院だった瑞龍寺から、この寺に統制権を移そうとした。しかし、禅僧の快川紹喜(かいせんじょうき)らによる「別伝の乱」が起きた。翌年、義龍が亡くなり反乱も治まった。その後、この寺は廃寺となり、庚申堂が残るのみとなっている。

8 卵建(今町)

岐阜市には珍しい卵建

岐阜市内では、卵建のある家屋は数軒しか残っていないといふ。今町のこの家屋は、現在は企業の事務所として活用されている。卵建は、元々は火災の延焼を防ぐための設備である。

9 梶川堀

武家屋敷を分ける堀

斎藤道三公・織田信長公時代には、この梶川堀から東側には武家屋敷、西側には町屋を配置したとされる。

10 大手門跡

いざ、山頂の岐阜城へ

現在の妙照寺前から少し西側に、大手道である金華山の七曲り登山道の上り口に向かひたてで大手門があったとされている。現在は、その面影は全くない。

11 常在寺【見学目安時間:約20分】

斎藤家の菩提寺

開山は宝徳2年(1450)、土岐家守護代斎藤妙椿が、妙覺寺から世尊院日範を招いて建立したとされ(日蓮宗京都妙覺寺の末寺になる)、文殊菩薩が安置されている。斎藤道三から三代にわたる菩提寺だったため、この道三と息子の義龍の画像(国重要文化財)を所蔵している。

12 妙照寺【見学目安時間:約20分】

芭蕉が泊まった寺

梶川町にある妙照寺の創建は、天文3年(1534)で、本堂は寛文2年(1662)に建てられた。慶長5年(1600)、当時の岐阜城主の織田秀信から、竹中半兵衛(豊臣秀吉の家臣)の屋敷跡を寄進され、現在の位置に移された。この寺の庫裡は岐阜県内に現存している神社・仏閣の中で最古のもので、本堂も庫裡も岐阜市指定重要文化財である。また、元禄元年(1688)6月、松尾芭蕉が奥書院に約1ヶ月間滞在していたと伝えられている。

13 岐阜大仏(正法寺)【見学目安時間:約20分】

独特的建築様式と籠大仏

正法寺の大仏は、像高13.63m、顔の長さは3.6m。奈良、鎌倉の大仏と並び、日本三大仏の一つとされる。38年の歳月をかけて天保3年(1832)に完成した。この大仏の作り方は珍しいもので、木・竹・粘土で型を作り、それに和紙(経典が書かれている)を貼り、金箔で仕上げてある。そのため、「籠大仏」と呼ばれている。

14 金華山ロープウェー

天然林の山肌と長良川のスペクタクル、金華山頂へ

昭和30年(1955)に開業。山麓駅から山頂駅まで、高低差255m、距離599m(最急勾配32°42')を約3分(速度は約13km)で登る。平日は、15分に1本、日祝日は10分に1本の運行。

15 金華山

本当の美濃の頂点

金華山は、岐阜市の中心部に位置し、標高は329m。かつては稲葉山と呼ばれ、山頂には岐阜城がそびえ立つ。岐阜城最上階からの眺めは、かつて織田信長も見晴らした壮大なスケール。また、市を中心部にありながら、シイやシダ類の群生が茂り、60種類以上の鳥たちも生息。まさに自然の博物館ながらある。ロープウェー山頂駅前にはリス村もあり、愛らしくてかわいいたくさんのリスたちが待っている。

16 岐阜城(稲葉山城)【見学目安時間:約30分】

どう攻め落とす?

建仁年間(1201~1204)、鎌倉幕府執事の二階堂行政が最初にここに砦を築いたとされる。天文8年(1539)斎藤道三が稲葉山城に拠点を置き、1567年には道三の孫である龍興を倒した織田信長が城を手に入れ、この地方一帯を平定。名を岐阜城へと改名し、天下統一の拠点とした。しかし慶長5年(1600)、関ヶ原の合戦の前哨戦で落城した。現在、金華山一帯は「岐阜城跡」として国の史跡に指定されている。

17 七曲り登山道(大手道)

いざ、山頂の岐阜城へ

斎藤道三が岐阜城に入城した際、金華山の西麓に居館を建て、百曲通と七曲通に城下町をつくったとされる。関ヶ原の合戦の前哨戦の際には、この登山道周辺で合戦があった。現在は、初心者、家族向けの登山コースとなっている。

18 信長時代の石垣

光秀も見た石垣!

金華山は全山がチャートという石材でできており、石垣にもこれが用いられています。天守南西部の通路横には、信長時代に造られたとみられる2段の石垣がよく残っており、往時の姿を伺うことができます。

19 めい想の小径(水手道)

城主の脱出道

このコースはいくつかの水の流れる沢を横切るので、別名を水手道とも呼ばれる。北面の尾根からは長良川、岐阜市北部の町並み、奥美濃から伊吹山も一望できる。

レンタサイクル受付所



JR岐阜駅南口 [受付] JR岐阜駅南口駐車場横 ☎090-5875-3196

岐阜市役所本庁舎 [受付] 岐阜市役所本庁舎 1F ☎080-2648-5131

岐阜公園 [受付] 岐阜公園総合案内所 ☎264-4865

長良川うかいミュージアム [受付] 長良川うかいミュージアム本館 ☎210-1555

ぎふメディアコスモス [受付] ぎふメディアコスモス警備室 ☎080-4293-9505

岐阜市長良川防災・健康ステーション [受付] 岐阜市長良川防災・健康ステーション1F ☎296-2220

市外局番は058

●観光のお問い合わせ

岐阜市観光コンベンション課 TEL.058-265-3984

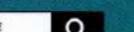
(公財)岐阜観光コンベンション協会 TEL.058-266-5588

岐阜市観光案内所 TEL.058-262-4415

岐阜公園総合案内所 TEL.058-264-4865



岐阜市漫遊





戦国武将の夢を追う 3 天下を制する拠点を踏み行く

「美濃を制するものは天下を制す」と
諳われたその拠点が岐阜(井の口)だった。
岐阜城(稲葉山城)を拠点にまちの礎を築いた
斎藤道三公・織田信長公の足跡や
金華山・清流長良川の豊かな自然、
川湊の風情が残るまちなみなどを
散策することで光秀や帰蝶が生きた時代に想いをはせる。



令和2年(2020年)1月 岐阜市歴史博物館に 麒麟がくる 大河ドラマ館オープン予定